

十字架の預言①

シリーズ～預言者の声～

2022/3/20 レント

十字架(受難)に関する預言

裏切られる
銀貨30枚で売られる
その金は陶器師に与えられる
弟子が離れていく
刺し貫かれ、打たれ、
傷を負う
神に見捨てられる

衣がくじ引きにされる
嘲られる
渴く
人間の罪の身代わり
として死ぬ
骨は砕かれない
突き刺した者を見る
富む者と共に葬られる
など

十字架を預言した預言者たち

- モーセ／出エジプト(過越の出来事)
 - 初子を身代わりにして助かる
- ダビデ／詩編22篇
 - 「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」
- イザヤ／イザヤ書53章
 - 苦難の僕
- ゼカリヤ／ゼカリヤ書
 - 子ロバに乗られる
 - 銀貨30枚で売られる

モーセとキリストの類似点

モーセ	キリスト
奴隸として苦しむ民	罪の奴隸として苦しむ民
救いのため遣わされる	救いのため遣わされる
ファラオに拒否される	ユダヤ人に拒否される
9の災い	数々の奇跡
10番目の災い	十字架
海を割って進む	復活
カナンの地入国	神の国に入る

出エジプト記12章1～14節

エジプトの国で、主はモーセとアロンに言われた。
「この月をあなたたちの正月とし、年の初めの月としなさい。イスラエルの共同体全体に次のように告げなさい。『今月の十日、人はそれぞれ父の家ごとに、すなわち家族ごとに**小羊を一匹**用意しなければならない。もし、家族が少人数で小羊一匹を食べきれない場合には、隣の家族と共に、人数に見合うものを用意し、めいめいの食べる量に見合う小羊を選ばねばならない。その小羊は、**傷のない一歳の雄**でなければならない。用意するのは羊でも山羊でもよい。それは、この月の十四日まで取り分けておき、イスラエルの共同体の会衆が皆で夕暮れに

それを屠り、その血を取って、小羊を食べる家の入り口の二本の柱と鴨居に塗る。そしてその夜、肉を火で焼いて食べる。また、酵母を入れないパンを苦菜を添えて食べる。肉は生で食べたり、煮て食べてはならない。必ず、頭も四肢も内臓も切り離さずに火で焼かねばならない。それを翌朝まで残しておいてはならない。翌朝まで残った場合には、焼却する。それを食べるときは、腰帯を締め、靴を履き、杖を手にし、急いで食べる。これが主の過越である。その夜、わたしはエジプトの国を巡り、人であれ、家畜であれ、エジプトの国のすべての初子を撃つ。また、エジプトのすべての神々に裁きを行う。

わたしは主である。あなたたちのいる家に塗った血は、あなたたちのしるしとなる。血を見たならば、わたしはあなたたちを過ぎ越す。わたしがエジプトの国を撃つとき、滅ぼす者の災いはあなたたちに及ばない。この日は、あなたたちにとって記念すべき日となる。あなたたちは、この日を主の祭りとして祝い、代々にわたって守るべき不変の定めとして祝わねばならない。

過越の出来事

- 最後の災い(奇跡)
 - 「わたしはエジプトの国を巡り、人であれ、家畜であれ、エジプトの国のすべての初子を撃つ」
- 準備するのは雄の小羊(ヤギ)
 - 「その小羊は、**傷のない一歳の雄**でなければならない。」
 - この小羊が身代わりとなる
- その血を入りに塗る
 - 「それを**屠り、その血を取って、小羊を食べる家の入り口の二本の柱と鴨居に塗る**」
 - 「血を見たならば、**わたしはあなたたちを過ぎ越す。**」

キリストの十字架

- 罪は裁かれなければならない
 - 「人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっています」ローマ3:23
- 備えられた神の独り子
 - 「神は、独り子を世にお遣わしになりました。その方によって、わたしたちが生きるようになるためです。ここに、神の愛がわたしたちの内に示されました。」ヨハネの手紙一4:9
- 身代わりとして死なれた神の独り子
 - 「キリストも一度罪のために死なれました。正しい方が悪い人々の身代わりとなったのです。」ペトロ一3:11(新改訳)

更新された過越祭

- ユダヤの正月行事となった過越祭
 - 「そしてその夜、肉を火で焼いて食べる。また、酵母を入れないパンを苦菜を添えて食べる。」
 - 「この日を主の祭りとして祝い、代々にわたって守るべき不変の定めとして祝わねばならない。」
- 過越祭の日に十字架にかかれたキリスト
 - 「過越の小羊を屠るべき除酵祭の日が来た。」ルカ22:7
- 更新された過越祭
 - 「また、杯を取り、感謝の祈りを唱え、彼らに渡して言われた。『皆、この杯から飲みなさい。これは、罪が赦されるように、多くの人のために流されるわたしの血、契約の血である。』」マタイ26:27-28

出エジプト(過越)の意味

- 神様の目的は単にユダヤ人をエジプトから救い出すことではなかった！
 - 特別な方法で救い出すことで、人類の救いの方法を予め示された
- 出エジプトの出来事は紀元前1500年頃
 - 1500年もの間、ユダヤ人たちは解放の予告編を見せられた
 - 過越祭は様々な困難に直面したユダヤ人たちの希望であった(正月に主の救いを確認する)
- 残念ながらユダヤ人たちは本物の過越(解放)を見過ごしてしまっている！

エレミヤ記31章31～33節

見よ、わたしがイスラエルの家、ユダの家と**新しい契約**を結ぶ日が来る、と主は言われる。この契約は、かつてわたしが彼らの先祖の手を取ってエジプトの地から導き出したときに結んだものではない。わたしが彼らの主人であったにもかかわらず、彼らはこの契約を破った、と主は言われる。しかし、来るべき日に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこれである、と主は言われる。すなわち、**わたしの律法を彼らの胸の中に授け、彼らの心にそれを記す。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。**

エレミヤ記31章31～33節

見よ、わたしがイスラエルの家、ユダの家と新しい契約を結ぶ日が来る、と主は言われる。この契約は、かつてわたしが彼らの先祖の手を取ってエジプトの地に結んだものではない。わたしが彼らの父であつたにもかかわらず、彼らはこの契約を破った、と主は言われる。しかし、来るべき日に、わたしがイスラエルの家と結ぶ契約はこれである、と主は言われる。すなわち、わたしの律法を彼らの胸の中に授け、彼らの心に記す。わたしは彼らの神となり、彼らはわたしの民となる。